

# 保育園の実践事例

園・校種	保育園
対象学年	0～3歳児

単元名 題材名 (教科等) テーマ	避難訓練(台風)
-------------------------	----------

## 《ねらい・目的》

台風の恐ろしさについて話し合う。

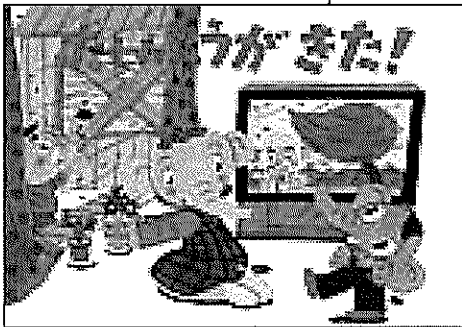
### ●事前準備

台風による災害・被害の写真を準備する。

### ●参考文献

紙芝居「たいふうがきた」(教育画劇) 台風による災害状況写真(新聞より)

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○台風について話す。	・台風とはどんな状況であるか、どのような危険があるか説明する。
5分	・台風による災害状況の写真を見せながら話をする。	・台風15号により園舎裏側の篠山川が警戒水位を超えたことにより、早く迎えに来てもらったことを思い出させる。
5分	○紙芝居「たいふうがきた」を見る。 	
5分	○台風の時どのような行動をすればいいか話し合う。	・大雨、暴風のとき外に出ることは危険である事を知る。 ・台風の時は、風で物が落ちてくるから危険な物に近づかない事を知る。 ・園にいるときは保育士の、家にいるときは大人の話をしっかり聞いて行動する事の大切さを話す。 ・年齢が小さいだけに、繰り返しの指導が必要である。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

# 保育園の実践事例

園・校種	保育園
対象学年	0～3歳児

単元名 題材名 (教科等) テーマ	避難訓練(火災)
-------------------------	----------

## 《ねらい・目的》

火事の原因や火事の怖さについて知る

### ●事前準備

ビデオ、水消火器 (いずれも消防署より借用)

### ●参考文献

ビデオ「ちびまる子ちゃんの火の用心」(14分)

### ●連携関係機関

消防署

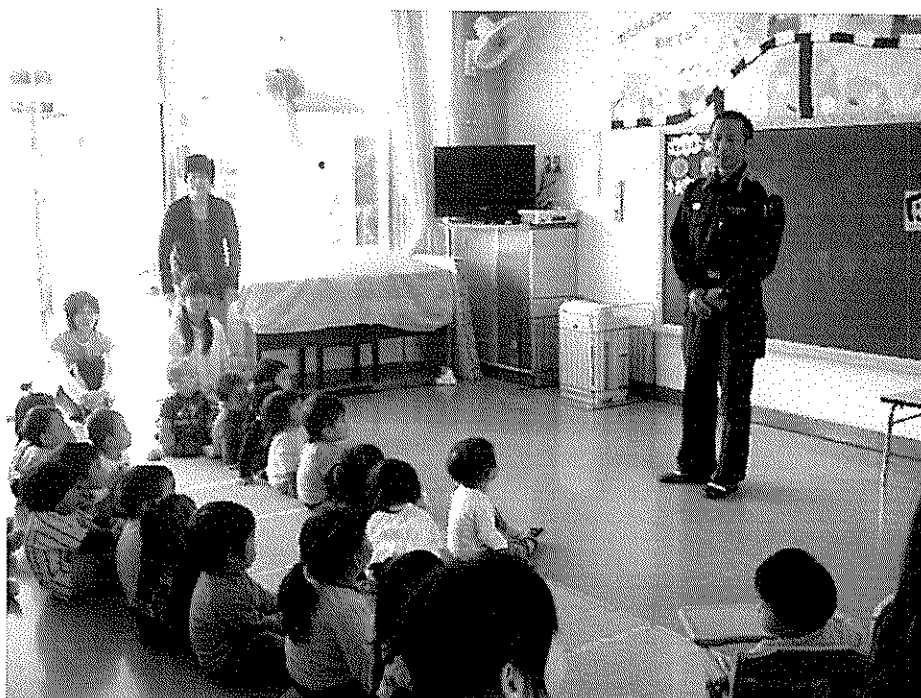
### ●講師・ゲストティーチャー

消防士 2名

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○火事になる原因についての話を聞く。	・火事になる原因について気づいたり考えたりできるように話をする。
15分	○ビデオを観る。 「ちびまる子ちゃんの火の用心」	・観やすいように環境を整える。
15分	○水消火器を使って消火器の使い方を知る。	・保育士が使い方を知り実践することで、子どもたちが興味や関心を持てるようにする。  <u>消火器の使い方等ポイント</u> ・栓を抜いてホースをはずし先を持ってレバーをにぎる。 ・消火器は15秒程度しか出ないので、火に近づいてからにぎって消す。 ・火の元へかける(火の上の方にはかけない)。 ・部屋の中の場合は扉を背にして逃げ道を確保しておく。
10分	○今日のまとめをする。	・今日見て感じたことや気づいたことを話し合い、家庭へもつなげていけるようにする。 ・子どもには、先生の話をよく聞いてまず逃げることや、火を出さないように気をつけることを話す。

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



消防士さんにお話を聞き、ビデオを観る。



実際に水消火器を使って消火訓練をする。

# 幼稚園の実践事例

園・校種	幼稚園
対象学年	4歳児・5歳児

単元名 題材名 (教科等) テーマ	消防署見学
-------------------------	-------

## 《ねらい・目的》

・実際に消防署を訪れ、直接消防士さんからお話を聞いたり、消防車両等を見学したりすることで、幼児の防火意識を高める機会とする。

## ●参考文献

DVD 『カルガモ親子の火の用心』（株式会社 教配）

## ●連携関係機関

篠山消防署

## ●講師・ゲストティーチャー

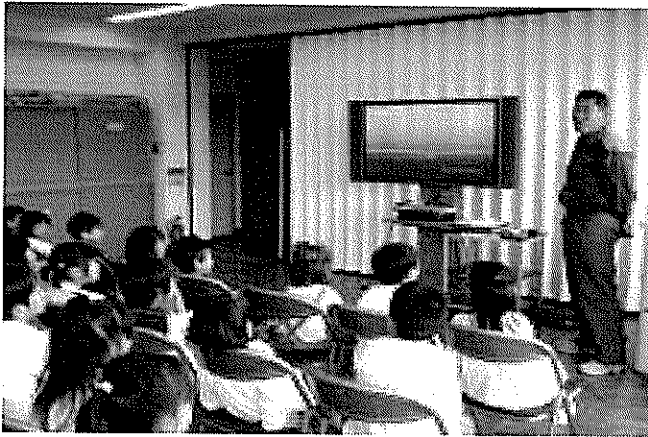
篠山消防署の消防士

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○消防士さんの話を聞く。 (写真1)	・消防士さんから、直接防火についての話を聞くことで、気をつけなければならないことをしっかりと意識づけるようにする。
15分	○DVDを見る。 (写真2) ・『カルガモ親子の火の用心』	・幼児にも理解しやすい内容のDVDを見ることで、よりわかりやすく防火について知らせるようにする。
5分	○DVDの内容について話し合う。 ・火事を出さないために気をつけること。 ・もし火事を見つけたらすること。	・DVDのお話を通して知ったことなどについて話をさせるようにし、防火の約束をみんなで共有できるようにする。
30分	○消防車両等の見学をする。 (写真3・4・5) (消防自動車・救急車・工作車)	・実際に消防自動車などを見たり乗車したり、消防士さんから説明を聞いたりすることで、消防署の仕事に興味関心をもたせるとともに、幼児達の防火意識を高める機会となるようにする。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



消防士さんの話を聞く  
〈写真1〉



DVD『カルガモ親子の火の用心』  
〈写真2〉



〈写真3〉



〈写真4〉

消防自動車見学・体験



救急車見学・体験  
〈写真5〉

## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	1年生

単元名 題材名 (教科等) テーマ	学校の中の安全 ひなんのしかたをしろう (学級活動) -火事が起こったらどうしたらいいのかな-
-------------------------	---

### 《ねらい・目的》

「学校で火事が起こったら、どんな経路でどんなことに気をつけて避難すればよいか考えること」によって災害安全の意識を高める。

### ●事前準備

学校の敷地の拡大図、マジック、ビデオ「火事にそなえて」、ワークシート

### ●参考文献

ぼくたちの危険攻略ファイル3「身近な事故・災害の危険」(教育画劇)  
危険から自分をまもる本(ポプラ社)  
安全な毎日を送る方法④「身のまわりの事故から身を守る」(学習研究社)  
火事にそなえて(東映教育ビデオ) 篠山市中央図書館所蔵

### 《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
5分	○学校で火事を発見したら、まずどうすればいいか考える。	・3つの絵(消す・知らせる・逃げる)を見せ、どれがいいのか手を挙げさせ、理由を言わせる。
10分	○調理室で火事が起こり、避難するときにはどの経路で逃げればいいか考える。	・各自ワークシートに書き、なぜその経路を考えたのか理由を言わせる。 ・火を避け、早く逃げる経路を考えることができたか。
7分	○逃げるときには、どのようなことに気をつければよいか考える。	・幼稚園、保育園の時にした避難訓練のことを思い出させる。 ・火事の写真を見せ、煙の怖さに気づかせる。
18分	○「火事にそなえて」のビデオを見る。	・学校での避難の仕方がわかるビデオを見せる。
5分	○避難するときの注意点を確認する。	・ビデオを見て知った注意点を発表させる。 ・「お・は・し・も」について説明する。  (評価) ・避難するときの注意することがわかったか。



## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	地域防災(火災避難)訓練
-------------------------	--------------

### 《ねらい・目的》

- ・非常事態に直面した場合でも、落ち着いて対応し、自他の命を守る実践的能力を育成する。
- ・消防団の消火活動を見学したり、講話を聞いたりして、その活動内容を理解する。

### ●事前準備

- ・避難経路(特に非常階段)の確認、整備、安全確保
- ・消火器と消火訓練の場の設定
- ・関係機関と協議、連携を行い、依頼文書等を発送する。

### ●連携関係機関

消防署、消防団、PTA

### ●講師・ゲストティーチャー

消防団員

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
1分	○非常ベルを鳴らし、緊急放送をする。	・出火状況ならびに避難の報知を行う。
	『緊急放送、静かに聞きましょう。ただいま給食室から出火しました。火の勢いがたいへん強く、危険です。児童のみなさんは、火元を避けて運動場に避難しなさい。』	・関係機関へ通報する。
5分	○運動場へ避難する。	・放送を静かに聞かせ、出火場所を確認させる。 ・避難経路、場所を確認させ、避難時の態度を指示する。 ①廊下に整列 ②点呼 ③避難開始、避難誘導 ※行方不明の児童がいた場合、その学級の担任が捜索、他学級の担任が合わせて避難させる。
	○人員確認をする。	・非常階段では、混雑していないか引率者が確かめた上、速やかに避難させる。 ・人員報告とともに、けがや健康状態もチェックする。 ・出席簿またはそれに代わるものを持って出る。
5分	○校長先生の話聞く。	
30~45分	○消防団員のお話を聞く。 ○放水体験、消火器訓練、消防自動車の見学をする。	・一刻を争って消火活動をされていることに気づかせる。 ・職員や代表の児童に体験させ、感想を聞く。 ・実際には、消火よりも安全に逃げることを優先するよう伝える。
5分	○まとめ	・お世話になった人に感謝の気持ちを表す。 ・各学級で、振り返り・反省をする。



《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	避難訓練(地震)
-------------------------	----------

### 《ねらい・目的》

職員及び児童ともに、予期せぬ非常事態に直面した場合でも、落ち着いて対処できるように訓練

### ●事前準備

- ・事前、または事後に震災について資料等を使い、学年の実態に合わせ学習を行う。
- ・児童用の振り返りシートを作成する。(職員の反省シートも)
- ・学年・学級・児童の実態に合わせて避難訓練の日時を知らせておいても良い。
- ・休み時間の訓練になるため、避難場所、避難経路等事前に確実に指導しておく。

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
1分	○地震発生	・休み時間における災害発生を想定した訓練とする。 ・地震のテープ(音)を流す。
3分	○通報  ○児童への指示	・関係機関への通報指示、校内アナウンス(教頭)を行う。 ・放送や指示をよく聞いて、静かに行動させる。
3分	○避難  ○人員確認、報告	・放送を静かに聞き、地震の状況を確認する。 ・避難経路を通って集合場所へ避難する。 ・避難時の態度を確認する。 ・教室のストーブは消し、窓と戸、カーテンを開ける。 ・ケガをしている児童には留意する。(事前に避難方法を確認しておく。) ※非常階段、エレベーターは使用しない。 ・避難場所で待機する教師は、事前に該当学年の欠席者を確認し、避難した児童の状態を把握しておく。
5分	○講評  ○解散	
15分	○各学級で振り返り	・振り返りシートに記入させる。

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》

【資料】

- ・揺れている間は、机の下などに入り、身をかがめてじっとしている。
- ・「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」
- ・くつのはらをふまない。屋内にいた人は上履きのまま出る。
- ・座布団等頭を保護するものがあればのせる。
- ・手をポケットに入れない。
- ・屋外に出たら、すみやかに行動する。
- ・階段をとばして降りない。
- ・エレベーター、非常階段は使用しない。
- ・背を低くして逃げる。

【児童用振り返りシート】

避難訓練(ひなんくんれん)を振(ふ)り返(かえ)って

年(ねん) 組(ぐみ) 名前(なまえ)( )

★今日(きょう)の避難訓練(ひなんくんれん)について答(こた)えましょう。

1. 地震(じしん)の放送(ほうそう)があったとき、どこにいましたか。
2. 放送(ほうそう)は、よく聞きこえましたか。○をつけましょう。
  - ・はい
  - ・いいえ 理由(りゆう)
    - ・あそびに夢中(むちゅう)だったから
    - ・みんなが騒(さわ)がしかったから
    - ・放送(ほうそう)の音(おと)が小(ちい)さかったから
  - ・その他(そのた)( )
3. 放送(ほうそう)で聞きいたことは、何(なん)ですか。
4. どこを通(とお)ってどこまで避難(ひなん)しましたか。
5. 地震(じしん)の音(おと)が聞きこえてから、運動場(うんどうじょう)に避難(ひなん)するまでに気(き)をつけたことは、何(なん)ですか。

# 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年・保護者

単元名 題材名 (教科等) テーマ	避難訓練と引き渡し訓練
-------------------------	-------------

## 《ねらい・目的》

- ・緊急時における訓練を通して、安全に素早く行動する力を身につける。
- ・緊急時の保護者への円滑な引き渡しを行うとともに、その態勢を確立する。

### ●事前準備

各地区の緊急連絡網の作成、保護者への訓練の連絡、引き渡しカード・受付名簿・地区別プラカードの作成 等

### ●連携関係機関

保護者

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○大雨洪水警報が発令されたと想定し、避難及び引き渡し訓練を実施する。	・対応を検討し、引き取り要請を決定する。
20分	○地区緊急連絡網を使い、保護者に児童引き取りの要請をする。	・連絡網の最後の方には学校に連絡を入れてもらうよう、事前に依頼しておく。 ・簡潔に連絡する。
10分	○緊急放送を聴き、担任の指示に従い、体育館へ移動する。 おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない	・体育館に避難するよう緊急放送をする。 ・担任は、児童を落ち着かせ、放送の指示により体育館へ児童を誘導する。
	○クラスごとに並ぶ。 (体育館入り口側)	・担任は、体育館へ誘導後、直ちに人員を確認し、本部に報告する。 ・欠席者がある場合は、地区別名簿の名前を二重線で消す。
	○地区別に並びかえる。	・避難誘導係を中心に地区別に並び替える。その際に、兄弟は一緒に並ぶ。 ・各地区担当は、欠席者を確認し、引き渡しカードと合致しているか確かめる。
15分	○保護者に連れられて「受付」で確認をしてもらう。	・引き渡し者は保護者と児童を確認するとともに、保護者に引き渡しカードに日付と署名をしてもらう。 ・引き渡した者が「引き渡し者欄」にサインし、カードを袋に入れる。 ・引き渡しが終わった保護者・児童から教室に移動してもらう。 ・来校できない保護者や来校が遅れている保護者への連絡を密にし、児童の不安が募らないよう配慮する。
	○引き渡し訓練終了	

## 〈課題〉

- ・PTA総会等を利用して、緊急時の連絡方法等についてきちんと説明しておく必要がある。
- ・車の出入りや駐車場所への誘導等にも気をつけたい。

## 小学校の実践事例

学校園名	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	キッズ防災検定を活かした防災訓練
-------------------------	------------------

### 《ねらい・目的》

キッズ防災検定を実施することで児童の防災に対する知識と関心を高め、防災訓練につなげることで実践力を養う。

#### ●事前準備

日頃から定期的に防災教育を行い、防災の基本的な知識を身につけさせておく。

#### ●参考文献

キッズ防災検定

(問合せ先: 特定非営利活動法人 検定協議会)

TEL078-393-5117 FAX078-393-5124)

#### ●講師・ゲストティーチャー

震災・学校支援チーム(EARTH)員 (2名)

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
(1日目) 45分	○キッズ防災検定を実施する	・現在知っている防災の知識を活かして挑戦させる。
(2日目) 45分	○キッズ防災検定の答え合わせを行い、再度防災の事項について確認する。	・間違ったところを確認し、正しい知識を増やす。
(3日目) 20分	○防災訓練を実施する。	・地震を想定した避難訓練を実施する。 ・検定で得た防災の知識を活かすように指導する。
45分	○防災について指導を受ける。	・ゲストティーチャーであるEARTHの方に指導を受ける。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	4～5年生

単元名 題材名 (教科等) テーマ	災害について考えよう (道徳)
-------------------------	-----------------

### 《ねらい・目的》

防災会議を開き、災害時の避難について考えさせる。


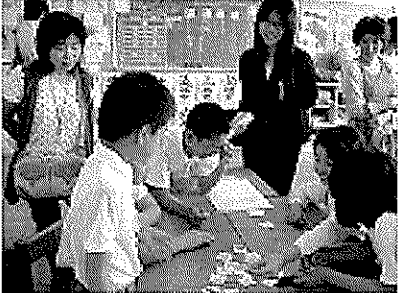
#### ●事前準備

地震災害時の対処イラスト、持ち出しグッズ、カード

#### ●参考文献

防災教育副読本『明日に生きる』の「災害について考えよう」

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○自然災害にはどんなものがあるかを知る。	・様々な災害の写真を用意しておく。
10分	○災害時の対処や避難場所について考える。	・学校、家、登下校、外出中などいろいろなケースについて考えさせる。
15分	○避難時に持っていくものについて考える。 	・非常持ち出し袋に入れるもの、またその理由も考えさせる。
10分	○家庭で防災会議をひらこう。 	・家の中での危険箇所や家族との連絡方法について考えさせる。
5分	○まとめる。	・今日の学習の感想やわかったことを書かせる。

## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	非常持ち出し袋に必要なもの
-------------------------	---------------

### 《ねらい・目的》

もし、震災が起こっても、すぐ持って行けるよう非常持ち出し袋の中身を考える。

#### ●事前準備

阪神淡路大震災の写真、東日本大震災の写真、防災リュック、防災リュックの中身(実物)または「非常持ち出しぶくろを考えてみよう！」絵カード  
※「非常持ち出しぶくろを考えてみよう！」絵カードは兵庫県教育委員会丹波教育事務所で借用可能

#### ●連携関係機関

兵庫県教育委員会丹波教育事務所

#### ●講師・ゲストティーチャー

兵庫県教育委員会丹波教育事務所防災教育専門推進員、震災・学校支援チーム(EARTH)員

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○阪神淡路大震災の写真と東日本大震災の写真を見て、知っていることを発表する。	・日時、場所、たくさんの方が亡くなっていること、どんな大震災だったのかを押さえる。
5分	○非常持ち出し袋の必要性について知る。	・避難所生活を余儀なくされたとき、何が必要なのかを考え、非常持ち出し袋があると安心だということに気づかせる。
20分	○非常持ち出し袋の中身を選ぶ。 ・実物または絵カード(30枚程度)から非常時の必需品を選ばせる。 ＜写真1＞	・どんなものがあると安心できるのか考えさせる。(班毎に行ってもよい)
10分	○選んだ中身の理由を言う。 ＜写真2＞	・選んだ理由を発表させる。 ・例えばサランラップでは止血効果や皿代わりになる。役に立たない物は何もないことに気づかせる。
5分	○非常持ち出し袋の中身を再確認し、家でも用意するよう意識する。	・それぞれの物品の持つ役割を改めて認識させるとともに、家族で持ち出し品について話し合わせたい。

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



<写真1>



<写真2>

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)



## 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	全学年

単元名 題材名 (教科等) テーマ	災害時の心と食 (防災意識の高揚)
-------------------------	-------------------

### 《ねらい・目的》

自然災害に遭うと人の心に変化が生じることを知るとともに、食について考える。

#### ●事前準備

震災・学校支援チーム(EARTH)災害を語り継ぐ素材集 (CD・DVD)  
兵庫県教育委員会

#### ●参考文献

災害後のこころのケアのために「かばくんのきもち」  
富永良喜(兵庫教育大学教授)作 遠見書房


#### ●連携関係機関

兵庫県教育委員会丹波教育事務所

#### ●講師・ゲストティーチャー

兵庫県教育委員会丹波教育事務所防災教育専門推進員、震災・学校支援チーム(EARTH)員

### 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

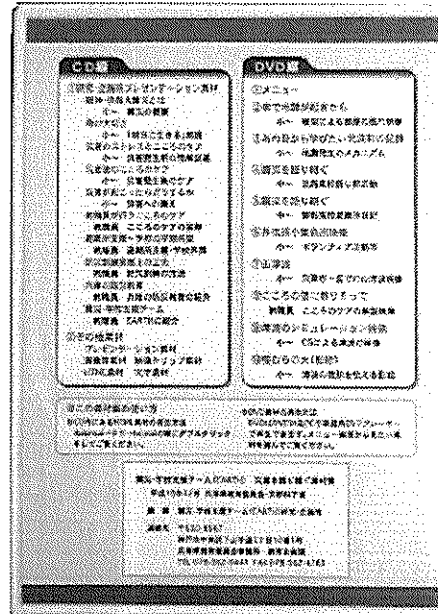
時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
3分	○今日の学習の流れを知る。	
15分	○阪神淡路大震災、避難所生活、人々の様子等を視聴する。(CD-ROM)	・決して人ごとではなく、私たちが住む篠山にもいつ起こるか分からないことを伝える。
10分	○人の心に変化が生じることを知る。 ～「かばくんのきもち」を読む～ 	・大震災を経験すると、小さな物音、風、雨等にも反応し、自分の殻に閉じこもるようになってしまうことを知らせる。
10分	○リラクゼーションの方法を体験する。 一人で、二人組で・・・	・深呼吸や脱力方法など、一人でできる方法を知らせる。
5分	○食について考える。	・昔からある干し大根、つるし、さつまいも、干しいも等、繊維食物の持つ良さを伝える。
2分	○まとめる。	・人を助けるのは人でしかない。環境の変化に負けない強いからだと心をつくっていくことを心がけさせたい。

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》

震災・学校支援チーム(EARTH)災害を語り継ぐ素材集 (CD・DVD)  
兵庫県教育委員会



(表)



(裏)

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

# 小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	特別支援学級

単元名 題材名 (教科等) テーマ	ぼくの いのちは ぼくが まもるよ
-------------------------	-------------------

## 《ねらい・目的》

登下校中災害が起こった場合、どのようにすればよいか考えさせる。



### ●事前準備

災害の写真、防災紙芝居(童心社、篠山市立中央図書館で借用)、地震防災カルタ(NHK仙台放送局)

### ●参考文献

防災ハンドブック ー自閉症のあなたと家族の方へー (日本自閉症協会)

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○登下校で気をつけることを発表する。	・クイズ形式で考えさせる。
10分	○地震や台風による災害について知っていることを発表する。 <div style="text-align: center;">&lt;写真&gt;</div>	・災害は時々起こるものだということを強調する。
10分	○災害が起こった時どのようにしたらよいかを考える。	・机の下にもぐるなど、具体的に体験させる。
10分	○災害に備えてどんなことができるかを考える。	・紙芝居を使ってわかりやすく説明する。 <div style="text-align: center;">  </div>
10分	○防災カルタをする。	・カルタ遊びを通して大切なことを伝える。 <div style="text-align: center;">  </div>

# 中学校の実践事例

園・校種	中学校
対象学年	3年生

単元名 題材名 (教科等) テーマ	震災の中で (道徳)
-------------------------	------------

## 《ねらい・目的》

- ・阪神淡路大震災を忘れないためにも、どのような地震であったかを改めて学習する。
- ・震災の中で、ボランティア活動を通して社会のために何とかしなければならないという奉仕の気持ちを大切に自分の立場を見つめさせる。

## ●参考文献

- 神戸新聞(夕刊) 1995.1.17(火)
- 中学道徳 明日をひらく2「震災の中で」(東京書籍)
- 防災教材「ビジュアル版 幸せ運ぼう」DVD 作 読売テレビ他

## 《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
導入 10分	○震災について思い出す。 いつ…どんな被害が… 当日の夕刊の復刻版を再度配る。	
展開 30分	<p>○DVDを視聴する。 避難所の生活 そのときの学校… 市民のために</p> <p>○「震災の中で」前半を読む</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者はどうして人の役に立ちたいという気持ちになったのだろうか。</p> <p>・「何とかしなければ」という気持ちが強く、このまま何もしない自分が許せなかった。 ・周囲の人の精一杯やっている姿を見て、自分にできることはないかと責任を感じている。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いくら頑張っても奉仕の気持ちが伝わってこないことに作者は何を考えていたのだろうか。</p> <p>・どうして私たちが文句を言われるのか。 ・そこまで言わなくてもいいんじゃないか。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">そんなとき君ならどうする？</p> <p>・我慢する ・怒る ・作者はどうか考えたのか続きを読む</p>	<p>・災害が起こった中でどのような活動がおこなわれていたのかを知り、その中で共に支え合う事の大切さを感じさせる。</p> <p>・自分ならどう考えるかも考える。 ・心の葛藤 ・作者の苦しい立場から来る心の動揺</p>
まとめ 10分	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作者がそれでもボランティアを続けたのは何故ですか。感想も交えて書きましょう。</p>	

